

夏の熱中症予防推進大会

熱 中症搬送者ゼロを目指して

6月23日、「みらい」文化ホールで「夏の熱中症予防推進大会」が開催されました。

大会の第1部では地域で活動する「熱中症おたすけ隊」の委嘱式や来場者による「熱中症予防対策宣言」の唱和、消防本部による劇を交えた分かりやすい説明が行われました。第2部では気象予報士の天達武史さんが熱中症対策について講演し、最新の研究に基づく100年後の天気予報や今年の気候の特徴、熱中症のメカニズムなどを分かりやすく解説。来場者は講演を聞き、真夏に向けた熱中症対策について確認していました。



JR行田駅開業50周年記念式典

JR 行田駅の開業50周年をお祝い

7月2日、JR行田駅開業50周年記念式典が吉里山公園で行われました。

同駅は昭和41年(1966)7月1日に開業し、今年で50周年。式典では、工藤市長から「これからも地域のシンボルとして、地域とともに限らない発展を遂げていくことを心から願っています」とお祝いの言葉が述べられました。また、会場では同駅の歴史を振り返るパネル展示の他、地元の太井地区自治会連合会による記念品の配布なども行われ、地域を挙げて50年の節目をお祝いしました。



行田しぐさかすがい横丁

行 田の自然や文化を五感で体験

6月25日に浮き城の径で「行田しぐさかすがい横丁」が行われました。

この催しは、子供たちに過去と未来をつなぐ道徳心を養ってもらうことを目的に公益社団法人行田青年会議所の主催で開催されたものです。浮き城の径に沿って、「ふるさと創生クラブ」による魚つかみや「行田ゼリーフライ研究会」によるゼリーフライ作り、「忍の行田昔ばなし語り部の会」によるおはなし会などが行われ、多くの方が訪れました。参加した子供たちは、昔から受け継がれている行田の自然や文化に触れ、関心を高めることができたようです。



ささら獅子舞の体験学習

ささら獅子舞に挑戦!

7月11日、須加小学校で「ささら獅子舞」の体験学習が行われました。

これは、地元で伝わるささら獅子舞を体験してもらい、地域に伝わる文化に愛着をもってもらおうと毎年開催されているもの。体験学習には、4年生～6年生の28人が参加しました。子供たちは、下中条獅子舞保存会の方に獅子頭をかぶらせてもらったり、笛の吹き方を教えてもらったりと、普段なかなかできない体験に目を輝かせながら楽しそうに取り組んでいました。



第26回行田市綱引き大会

歯 を食いしばり優勝目指して

6月25日、行田グリーンアリーナで第26回行田市綱引き大会が開催されました。

この日は、市内の小学生46チーム471人が出場。競技は低学年、中学年、高学年に分かれて行われ、各チームが優勝目指して白熱した試合を繰り広げました。決して負けまいと、歯を食いしばって力いっぱい綱を引く子供たちに、家族や仲間からは大きな声援が送られました。



JICAボランティア田中さん市役所訪問

JICAボランティアとしてケニアへ出発

6月23日、JICAボランティアの保健師として2年間、ケニアに派遣される田中翔純さんが市役所を訪れました。

都内で看護師として働いていた田中さんは、発展途上で予防接種を受けられずに尊い命を落とした子供たちの存在を知り「病気を未然に防ぐように指導する技術を磨きたい」と決意。ケニアでは現地の医療サービスの質の向上や母子保健を中心に、予防接種推進活動などを行う予定です。工藤市長から激励された田中さんは「現地の方と積極的に関わり、健康的な生活が送れるよう支援したい」と意気込みを語りました。



第19回ときめきレインボーフェスティバル

多 彩なパフォーマンスに惜しみない拍手

7月3日、産業文化会館ホールで第19回ときめきレインボーフェスティバルが開催されました。

行田市文化団体連合会に加盟する11団体が吹奏楽、日本舞踊、ハーモニカ演奏、フラダンスなど多彩なパフォーマンスを披露。ステージ上で日頃の練習の成果を存分に発揮した出演者に対して、会場からは惜しみない拍手が送られていました。



第19回行田蓮まつり

す がすがしい朝のひととき

7月10日、古代蓮の里で第19回行田蓮まつりが開催され、早朝から多くの人出でにぎわいました。

会場では大正琴やオカリナの演奏、コーラスなど、数々のアトラクションが行われた他、蓮茶、蓮粥、蓮餅などが振る舞われ、来場者の舌を楽しませていました。また、蓮池周辺は見頃を迎えた蓮の花の香りに包まれ、来場者はすがすがしい朝のひとときを過ごしているようでした。

